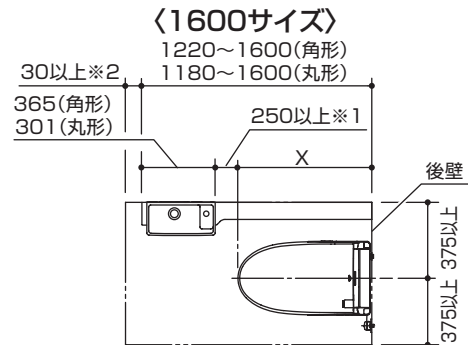
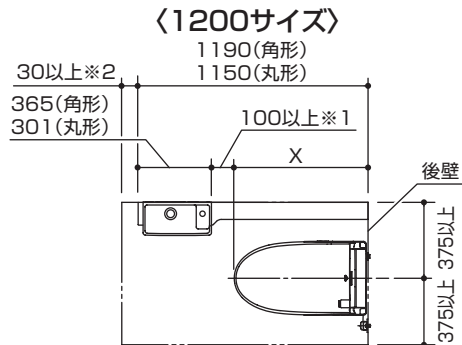
取り付け前のご注意

設置寸法について

・トイレの広さは以下の寸法を確保してください。
・設置される大便器の前出寸法Xによってトイレの必要寸法が異なりますので、ご注意ください。
・トイレスペースの奥行寸法に応じて、紙巻器や手すりなどの使い勝手を配慮した適切な位置に手洗器を設置してください。
・カウンター端部を後壁に突き当てて取り付けてください。

〈1200サイズ〉

〈1600サイズ〉

カウンタータイプ1600サイズは、使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行寸法に合わせて任意の長さにカットできます。（最短長さは角形の場合1220mm、丸形の場合1180mmまで）

※1　お客様の使い勝手上、100mm以上確保することにより、快適にお使いいただけます。確保できない場合は、個人差により手洗器への身体の接触や圧迫感を感じることがあります。

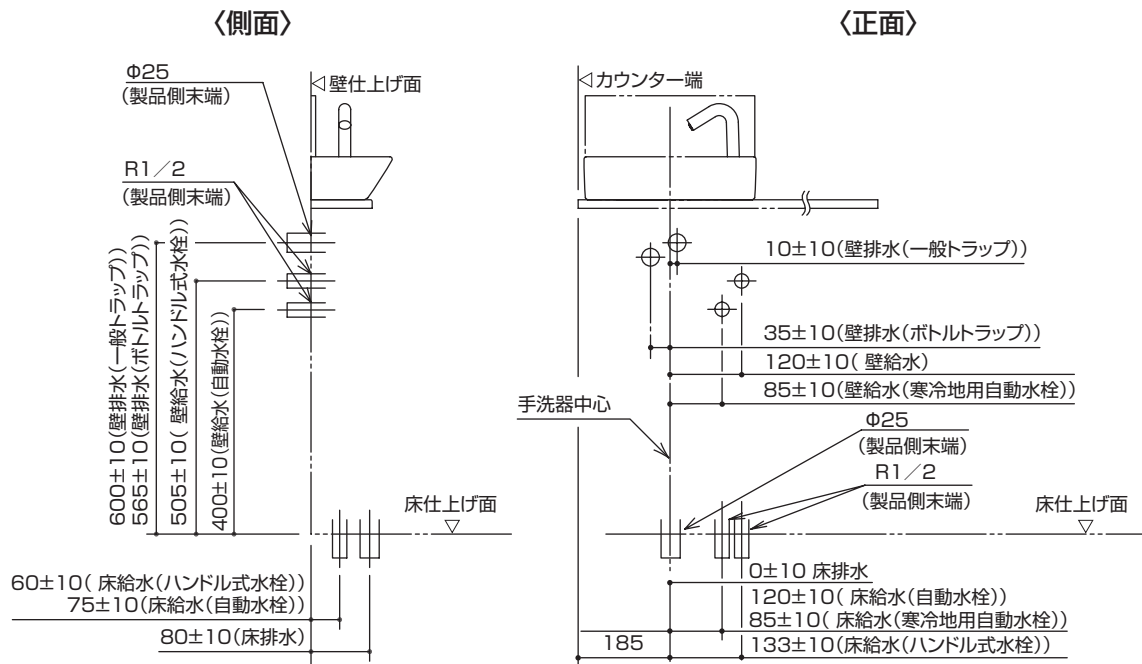
※2　丸形手洗器の右勝手で自動水栓（寒冷地仕様）、左勝手で自動水栓（電気温水器付）の場合は、70mm以上確保してください。

給排水位置について

・給水および排水管の取出位置は下図の通りです。
・設備側給排水管の立ち上げは、壁・床仕上げ面と同一面にしてください。
・左勝手・右勝手とも給排水位置は共通です。
・給水圧力範囲は、最低必要水圧：0.05MPa（流動時）、最高水圧：0.75MPa（静止時）です。この圧力範囲であることをご確認ください。

角　形

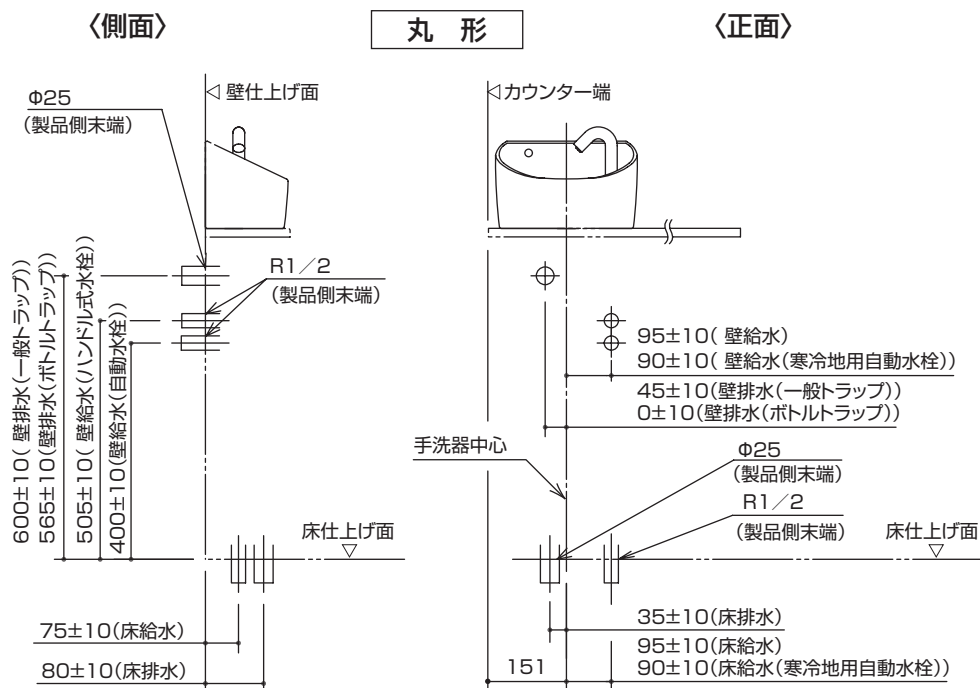
⚠ 警告

禁止

器具取付用ねじ固定部の壁裏には配管･配線をしない
（･火災や感電の原因となります。
･水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります）

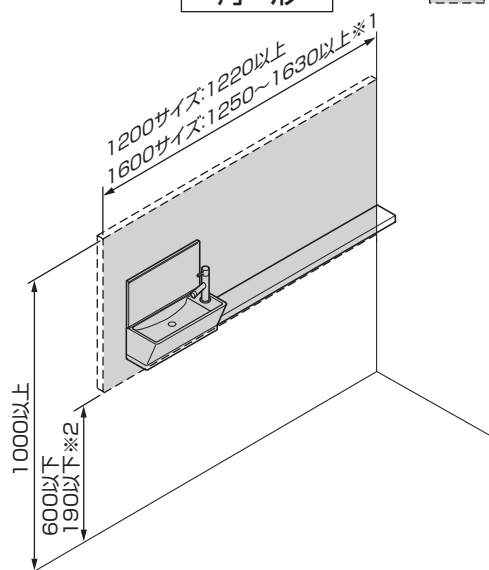
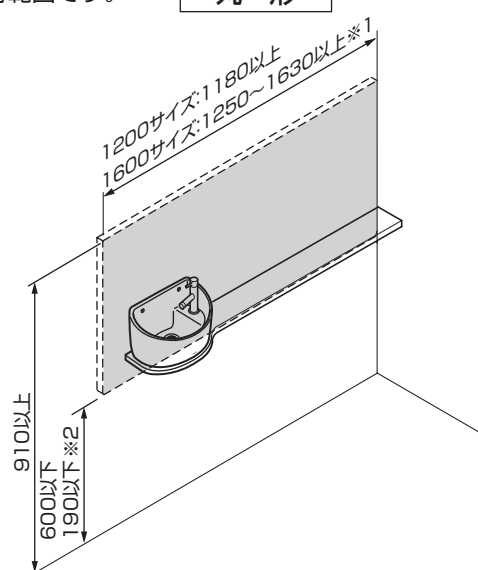
給排水位置について

・給水および排水管の取出位置は下図の通りです。
・設備側給排水管の立ち上げは、壁・床仕上げ面と同一面にしてください。
・左勝手・右勝手とも給排水位置は共通です。
・給水圧力範囲は、最低必要水圧：0.05MPa（流動時）、最高水圧：0.75MPa（静止時）です。この圧力範囲であることをご確認ください。

⚠ 警告

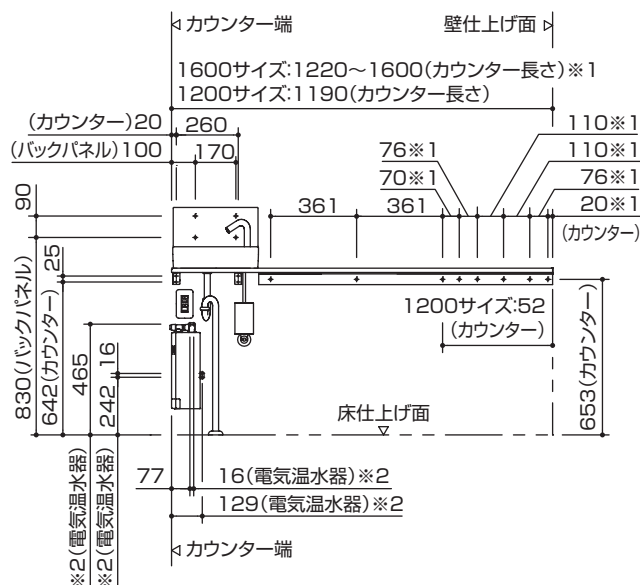
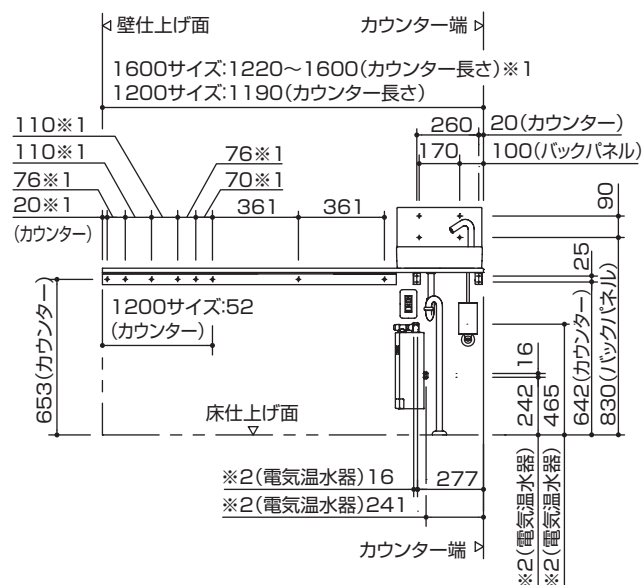
禁止

器具取付用ねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
（・火災や感電の原因となります
・水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります）

補強材について

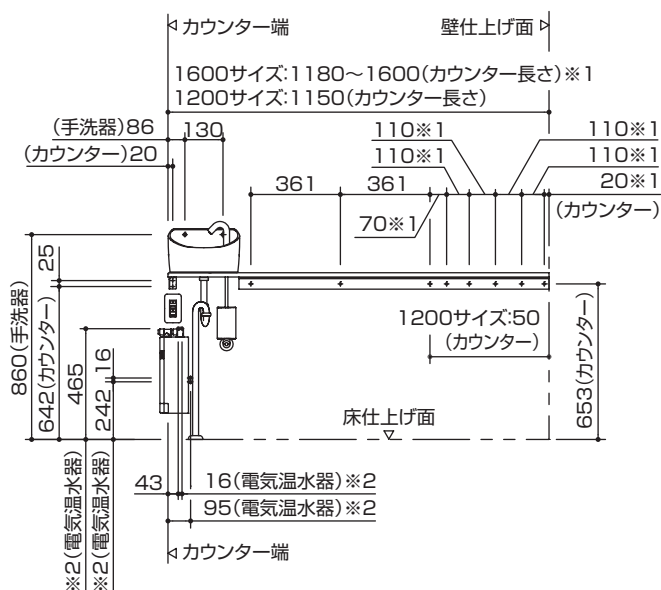
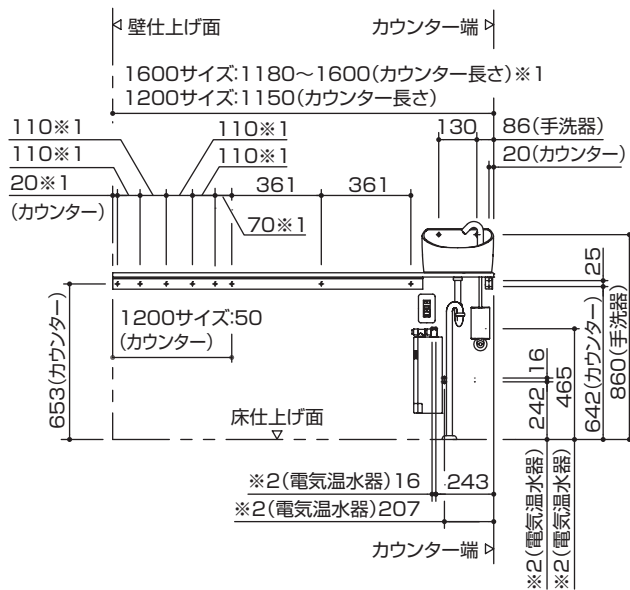
・手洗器およびカウンター、周辺部材の壁固定ねじ取付位置には、施工前に補強材として普通合板t12以上を壁面に入れておいてください。JAS規格相当品の合板を使用してください。
・タイル・コンクリート壁の場合は、壁固定位置に下穴をあけ、コンクリート用プラグ（現場手配）を打ち込んでおいてください。

※1 カウンター長さ＋30mm以上入れてください。　※2 電気温水器ありの場合。

補強材について

壁固定ねじ位置

角　形

〈手洗器が左勝手の場合〉　〈手洗器が右勝手の場合〉

※1　1600サイズでカウンターをカットする場合は、寸法が変わります。
※2　電気温水器が付かない場合は、(電気温水器)と記載のある位置の木ねじはありません。

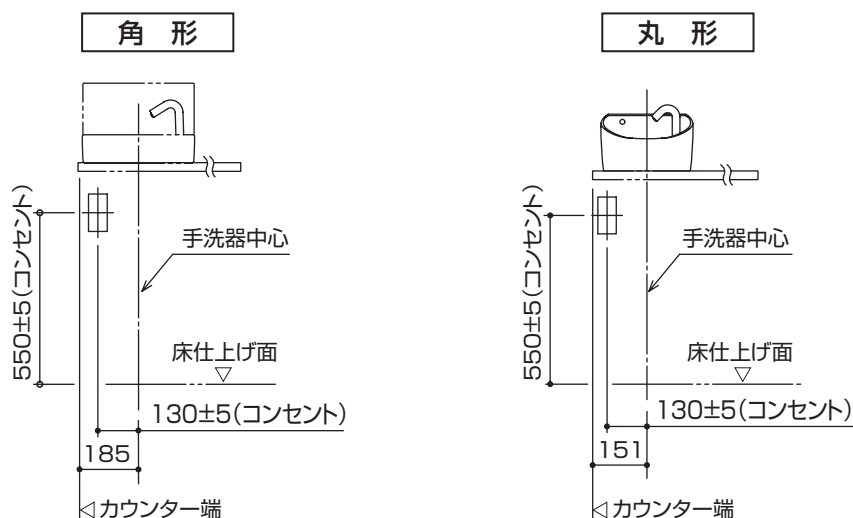
丸　形

〈手洗器が左勝手の場合〉　〈手洗器が右勝手の場合〉

※1　1600サイズでカウンターをカットする場合は、寸法が変わります。
※2　電気温水器が付かない場合は、(電気温水器)と記載のある位置の木ねじはありません。

電気配線について

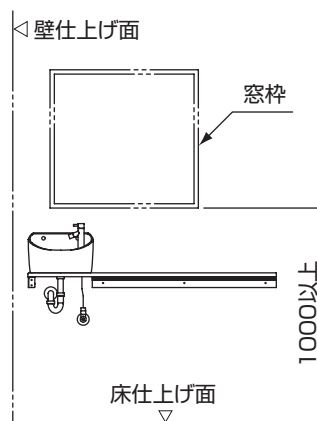
・自動水栓・電気温水器付自動水栓をセットする場合、あらかじめ下図の位置に壁埋込式コンセント（電気温水器付自動水栓の場合は、接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセント）を設置してください。
・定格消費電力：自動水栓（常時0.4W（作動時0.6W））、電気温水器（約505W）
・定格電源：AC100V 50/60Hz
・左右勝手ともコンセントの位置は共通です。

角　形

丸　形

⚠ 警告	
禁止	器具取付用ねじ固定部の壁裏には配線をしない（火災・感電の原因となります）

窓枠について

・窓がある場合、右図のような制約が付きます。
事前に製品と干渉しないことをご確認ください。

・周辺部材（鏡・手すり・石けん受け等）の取り付けに関しては各説明書をご参照ください。

図はＳサイズ（丸形）

必要工具

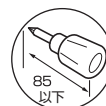
一般水道工事に使う工具以外に、右記の工具を用意してから施工を始めてください。

のこぎり

電動ドライバー
#2ビット
(65mm·200mm)

電動ドリル用キリ Φ3、Φ4
鉄工用 Φ3.8

ドライバー
（フィルター清掃用）

シリコンガン

スタビードライバー
#2ビット

部品の確認

専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。